

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 会議名 静岡県立熱海高等学校学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月17日(火) 13:30 ~ 15:30
- 3 開催場所 静岡県立熱海高等学校 会議室
- 4 参加者 学校運営協議会委員5名、管理職4名、熱海高校教員3名

5 会議の概要

(1) 令和7年度学校経営計画について

管理職 学校経営計画について、「行きたい学校づくり」について説明。

(2) 各グループ長から学校の近況と学校経営計画詳細について

教務企画G:

出欠席状況、学校行事、本の貸し出し数、総合探究について。今年度も一日体験入学やオープンスクール、桃陵祭、年度末の地域探究発表会において総合的な探究の授業での活動をアピールできるように計画している。

生徒指導対策G:

年度当初、全教員で生徒昇降口にて挨拶指導、登校指導を行っている。朝食摂取率が静岡県の高校生の平均95%と比べて低く、75%程度。

キャリア教育推進G:

令和6年度の進路別状況について。直近の卒業生から得られる情報の影響が大きい。就職と進学は半々。

(3) 委員提言

委員A: よくない生徒を見ない。そもそも生徒が少なくなり、見かける機会が少なくなった。高校生ホテルを行った生徒6名を採用したが、3年持たない生徒が多い。最長でも6年。採用の時から三者面談が必要か。半数以上が恋愛でやめる。最近では社会でもまれた人材を採用している。入社の際、新入社員に「3年は頑張ろう」と話している、熱海高校卒の社員の離職率が高い。インターンシップ等でしっかり判断して就労した方がよい。アルバイト先や就労先の話聞くのがよい。生徒は給料を重視してしまう。探究と合わせて出口をはっきりさせ、出口までを案内する必要がある。熱海高校の生徒は地元で就職して欲しい。熱海、伊東で暮らしたい人は「熱海高校がいい」と思ってもらえるとよい。商工会議所が年2回熱海高生を集めて繋がりを持たせている。

委員B: 生徒は真面目で落ち着いている。遅刻、欠席が減っている。生徒の確保が課題。入学式の印象として体育館が暗い。オープンスクールなどで数を上げていかなければならない。HPでアピールするなど、ツールをうまく使うとよい。子供の数が減っており、市ができる範囲や、教員ができることは限られているが、地元からもバックアップをしたい。就

職してから辞めない環境づくりが必要。教員のアドバイスが大きい。いいところに就職してもらいたいし、いいところに就職していることを伝えたい。

委員C：昔に比べて少し活気がない。インスタの発信が毎日あったらよい。生徒指導のチケット制について、プラスのポイントを与える制度もあったらよいと思う。

委員A：生徒は「褒めてもらいたい」。頑張っている子を褒めてやる、できる子を伸ばすことが必要。

委員D：生徒のための弁当屋が見つかってよかった。親も呼んで食育をすることが必要。御飯がどれだけ大事か、親にも学んでもらう必要がある。

委員E：S高校では学校魅力化委員会を作っている。熱海高校生に魅力化委員に入ってもらい、考えてもらうのもよい。若い人の力が必要。オープンスクールで高校生にも入ってもらい、話をしてもらうとよい。

(4) その他

管理職：次回の第2回学校運営協議会の日程は、10月25日（土）（桃陵祭当日）の予定。